

道徳だより



穴水町立
向洋小学校
第2号
H27. 7.15

6月25日 道徳授業参観 たくさんのご参加 ありがとうございます

道徳授業参観には、多くの保護者の方に参観していただくことができました。ありがとうございました。また、参観後の道徳に関するアンケートにも多くの感想やご意見をいただくことができました。重ねて御礼申し上げます。

アンケートからは、家庭においても、価値項目に関する内容で家族間の会話がなされていたことがうかがえました。会話の内容は各家庭で様々ですが、学校と家庭とがつながりある道徳教育が進められています。今回の道徳授業参観だけでなく、これからも、道徳の授業においても家庭との連携を深め、豊かな心を育める場を作っていきたいと思えます。



各学年のアンケートから…保護者のみなさんの声

【1年】

- ・「親切」ということを深く考えられた授業だったと思います。
- ・お友達が家でどのようなことをしているかをふり返りました。相手に「ありがとう」と思うこと、伝えることが大切じゃないかなという話をしました。
- ・子どもたちなりに一生懸命考え、答えている姿がとても印象に残りました。今日、授業で学んだことが、どこかで生かせる時が来ることを願っています。

【2年・3年】

- ・相手のことを思いながら顔を思い浮かべながら料理を作る。料理の原点なのかもしれないね。毎日していると忘れてしまうことがあります…。
- ・話をしたところ、人を思う気持ちを学んだようでした。授業を通してこのような気持ちを持てるということは、とても良いと思いました。
- ・給食のメニューができるまでの過程を家に帰ってきて話していました。今までただ給食を食べていたのが、作る人の気持ちや思いを少し感じ取ったようです。

【4年】

- ・きちんと自分の気持ちが相手に伝わるよう説明（理由）を付け加えて話をしていたのを聞いて、成長しているなと感心しました。
- ・落ち着いて授業を受けていました。先生の話をしっかり聞いていました。

【5年】

- ・意見を一つ一つ聞き、そこからいろいろな意見につなげていく感じが見受けられ、子どもたちも自信を持って発表できるんだろうなと思いました。
- ・「29日は学校の大事な日だけど何でしょう。」と言われて、ぜんぜん分からなかったのですが、答えは「大相撲の番付発表の日」だそうです。遠藤関のことを子どもたちは応援しているのですね。

【6年】

- ・家庭から社会へ、自分もつながっていることを知るための良い時間であったと思います。これからもっと社会の一員であることと、社会のためになることを学び、行動をしてほしいと思います。
- ・「滝井先生の話聞いて良かった。これから人が喜んでくれることをしたいなあ。」と言っていました。体を動かして汗をかいたりすると、仕事が終わった後、気持ちがすっきりしていいなどと色々話しました。
- ・自分が嫌なことはなかなか率先して取り組めないものですが、例えば家事の手伝いから始めるなど、無理せずに行えることから取り組みたいと再確認しました。

6年生では こんな授業をしています(6月25日)

『勤労・社会奉仕』 「働くことって・・・どんなこと？」



6年生は、「ぼくの仕事は便所そうじ」の資料をもとに、勤労・社会奉仕について考えました。今回の授業では、滝井元之さんをゲストティーチャーに招きました。

授業の後半にさしかかり、「働くのは他の人のため」だから『周囲の人を喜ばせることができる。』という意見と、「働くのは自分のため」それは『働くという経験が自分を豊かにし将来に役立つ。』という意見が子どもたちから出ました。そして、最後の滝井さんのお話を聞きました。

滝井さんは、能登半島地震で被災された方々を支える活動を行っています。その活動を地震以来ずっと続けてこられました。でも、それはいいことばかりではありませんでした。一部の方には、滝井さんの活動を理解してもらえなかったからです。被災した方を励ますために家を訪問したり、お便りを届けに行ったりしても、顔を見せてくれない人もいたそうです。それでも、できる限りの活動を地道に続けました。最近では理解してもらえなかった方と、電話や手紙のやりとりができるほどの深い関係になったというお話を聞かせていただきました。

次の日、子どもたちに感想文を書かせました。その中には「働くことって素敵だな。」「周りの人に役に立つんだな。」「こつこつと働くことで、人間関係をも変えることがあるんだな。」「活動を長い間、続けることはすごいことだな。」など書かれており、みんなそれぞれに感じるものがあったようです。



6年生全員が、意見を発表しました。



滝井さんのお話を真剣な表情で聞いています。